



## 地区の現況と課題

【現況】本地区は、一般国道 8 号及び 18 号に接しており、北陸自動車道上越 IC の周辺でもあることから、交通の利便性に優れた位置にある。

地区周辺は、過去に行われた土地区画整理事業により、公共公益施設や商業・業務施設、住宅地が集積し複合的な拠点地域となっている。

土地区画整理事業は平成 22 年度から住宅地販売を開始し、子育て世代を中心に居住人口が増加している。また、土地区画整理事業を契機に新旧住民で構成するまちづくり検討会が平成 21 年度から継続的に開催されており、まちづくりの機運が高まりつつある。

【課題】土地区画整理事業の完了に向けて、住宅購入層に多い子育て世代が、住宅地に魅力を感じるシンボリックな公園整備が急務となっている。

土地区画整理事業により他地区から移り住んできた新住民で構成される街においては、住民同士の交流機会が少なく、周辺の教育・文化施設（教育プラザ）を活かした憩いの場を創出する必要がある。また、住民が主体となったまちづくりを展開するためにまちづくり検討会を引き続き組織し、コミュニティ形成を図る必要がある。

地区内の小学生が通学する既存小学校はすでに児童数が過大規模校となっており教室不足が問題となっている。土地区画整理事業等で就学児童数が増加したことにより、さらに問題が深刻化している。これを解消するために本地区において小学校の新設が急務となっている。

## 提案事業の特徴

### まちづくり活動の支援

住民の意識向上とコミュニケーションの充実、そして継続的なまちづくりを行うため、区域内で実施する土地区画整理事業に合わせ、公園整備等におけるワークショップや地域の良好なまちづくりを目指し土地利用の検討・勉強会の開催などを行う。

### 土地区画整理事業助成金事業

公共施設を整備し宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を施行する土地区画整理組合へ助成金を交付する。

### 上越科学館改修事業

直江津港に地域の一大エネルギー基地ができたことを活かして、子どもから大人まで幅広い世代にエネルギーに関する学習の機会を提供する場の整備を行う。

### 有田南小学校建設事業

土地区画整理事業に伴い、就学先の小学校の児童が大幅に増加することが見込まれるため、早急に分離新設校の建設を行う。



整備前



整備後

▲土地区画整理事業（長楽寺公園）



▲地区の整備前状況（小学校予定地）



整備前



整備後

▲上越科学館改修事業  
（Eゾーン）